

令和5年度第1回群馬県がん診療連携協議会 議事要旨

開催日時：令和6年3月6日（水）18：00～18：57

開催場所：Web 開催（Zoom ミーティング）

出席者：別紙のとおり

議 題

1. 研修会等の実績報告及び計画について

群馬大学医学部附属病院腫瘍センター副センター長櫻井医師から資料1に基づき、各医療機関から提出いただいた研修会等の実施報告及び計画について説明があった。

2. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会及び各部会の報告について

（1）都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会

櫻井医師から資料2-1に基づき、令和5年7月7日開催の第16回都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会について説明があった。

（2）地域連携パス部会

藤井部会長から資料2-2に基づき、令和5年度の医療機関別パス実績状況について説明があった。実績に関しては例年通りで、コロナの影響もなかった。重粒子のパスは算定できていないが患者さんの根絶緩和にも繋がるため、今後も積極的に活用してほしい。今後、地域連携パス部会のメール会議で実績について意見照会を行い、審議報告が必要なものに関しては次回のパス部会で取り上げたい。

（3）情報提供・相談支援部会

小和瀬部会長から資料2-3に基づき、令和6年3月6日開催の令和5年度第2回群馬県がん診療連携協議会 情報提供・相談支援部会について説明があった。

- ・ 令和5年11月24日に開催された第21回 都道府県がん診療連携病院連絡協議会 情報提供・相談支援部会の内容について報告があった。
- ・ 群馬県の事前アンケート結果については、病院のバックアップ体制が全国では7割だが群馬県では3割となっている。課題として、情報提供体制では臨床試験・妊孕性温存・就学支援・がんゲノム医療は県全体で検討する必要がある、ピア・サポーターの活用や派遣調整、AYA世代がん患者への支援も県全体で取り組む必要があるとの意見があった。
- ・ 『認定がん相談支援センター』認定施設が群馬県ではゼロとなっているため、改善が必要との意見があった。
- ・ 2025年度の北関東甲信越地域相談支援フォーラムは群馬県となるため、引き続き協力をお願いしたい。

（4）緩和ケア部会

齋藤部会長から資料2-4に基づき、令和5年6月28日開催の緩和ケア部会メール会議について報告があった。群馬県の共通目標について説明があり、部会については3月11日に開催予定となっており、引き続き具体的な方策を検討していきたい。

（5）看護部会

河村部会長から資料2-5に基づき、令和5年度がん診療連携協議会看護部会の活動について報告があった。看護部主催の小規模な公開可能な研修等については情報共有し、他施設から参加できるよう整えた。最終的な受講状況は集計中となっている。看護部会オンライン会議は令和6年2月29日に開催し、開催状況と課題、令和6年度の活動計画について説明があった。

齋藤部会長から人材養成のための研修会等には積極的に参加するよう、各施設にはお願いしたい。

（6）がん登録部会

猿木部会長から資料2-6に基づき、令和5年6月30日・令和6年2月5日開催のがん登録部会について報告があった。

- ・ 令和5年度のスケジュール概要について説明があった。
- ・ 院内がん登録全国収集データの二次利用とデータ利用審査委員会について説明があ

った。特別利用で協力依頼があった場合は協力していただきたい。

- ・院内がん登録二次利用についてのオプトアウトについて説明文書や院内掲示、運用手順について説明があった。
- ・令和6年1月27日開催の群馬県院内がん登録研修会の報告があった。
- ・拠点病院院内がん登録(2022年診断症例)集計について説明があり、承認をいただきたい。HP掲載は4月を予定としている。
- ・施設別生存率公表について説明があった。2016-2017年診断症例集計は2年分まとめた公表予定のため、後日各施設に同意を取りたい。
- ・令和6年2月18日開催の令和5年度日本医師会・日本がん登録協議会主催シンポジウムの報告があった。3月22日までオンデマンド配信されているので興味があれば参加いただきたい。

齋藤会長から2022年診断症例・2016-2017年診断症例の公表予定について確認があり、異論はなかった。

猿木部会長から公表する際には各施設に了承を得た上で行うと説明があった。

(7) がん診療質の評価部会

尾嶋部会長から資料2-7に基づき、以下の報告があった。

- ・令和6年2月20日に令和5年度第1回がん診療質の評価部会が行われ、第11回がん診療体制の質に関する調査結果について報告があった。前回と比べると少しずつ改善している。他県との比較からも群馬県だけが低い訳ではないことが読み取れる。
- ・第10、11回を比較して体制が改善している施設として、渋川医療センターと桐生厚生総合病院の事例の説明があった。群馬県内で標準的な雛型を配布すればもう少し適合率が上がるのではないかと提案があった。
- ・群馬県がん診療連携協議会のホームページに、第11回の調査報告書が掲載されているので確認いただきたい。
- ・説明同意文書については66.7%が群馬大学の様式を参考に作成していた。今後の課題として説明同意文書をどのように更新していくか検討する必要がある。
- ・第12回の調査については既に開始しているが、化学療法と血液がんの調書が遅れている。今後、各施設に依頼するので協力をお願いしたい。

3. 次期「群馬県がん対策推進計画」について

笠原委員代理から資料3に基づき、第4期群馬県がん対策推進計画案の概要について説明があった。第3期は令和5年度で終了となり、3月中に第4期が策定予定なる。計画の期間は2024年度から2029年度の6年間となる。基本理念・全体目標・分野別施策について説明があった。また、第3期からの変更点や追加事項について説明があった。HPに掲載するので確認の上、計画推進に協力をいただきたい。

齋藤会長から時流に合わせてデジタル化の推進、災害やパンデミック等を見据えた対策が追加されている。意見があれば群馬県へ連絡してほしい、と説明があった。

4. がん診療連携拠点病院指定要件における協議会で実施すべき事項について

群馬大学医学部附属病院腫瘍センター副センター長櫻井医師から資料4に基づき、がん診療連携拠点病院等の整備(健発0801第16号令和4年8月1日)にかかる都道府県協議会の役割について説明があった。

齋藤会長から協議会として報告や検討の責務がある。各施設には今後とも協力をお願いしたい、と説明があった。

齋藤会長から各施設で協議会委員の変更がある場合は、群馬大学の事務局まで連絡してほしい旨発言があった。

蒔田委員から退任の挨拶があった。

以上